



このまちがもっと、このまちらしく輝くためのソウゾウ開化…
「はっち」が贈る、おいしい情報。

はっちの5周年
これまでの5年と、これからの日々へ

日々のはっち・変わるまち
貸館活動紹介・ほか

はっち特派員だより・八戸さんぽマイスター
はっち特派員が見だえんぶり・まちなかガイド



hacchi event program イベント情報

*** ■田附勝 写真展「魚人」**
1月30日(土)～2月21日(日)
9:00～21:00 ※2月9日は休館日
木村伊兵衛写真賞を受賞した写真家・田附勝が八戸市の沿岸部の暮らしを1年にわたって撮影した写真展を開催します。

*** ■まちぐみ展**
2月8日(月)～21日(日)
9:00～21:00 ※2月9日は休館日
まちをおもしろくするボランティア集団「まちぐみ」のこれまでの活動と今後の取り組みを紹介します。

*** ■はっち開館5周年記念セミナー**
2月11日(木・祝) 13:30～

*** ■第3回 八戸市民ロボコン「イカとり合戦」**
2月14日(日) 13:30～
工夫を凝らしたロボットたちが競う市民参加のロボコン大会。今回は八戸名物のイカをテーマとして開催します。

*** ■第四回 はちのへ演劇祭**
3月1日(火)～6日(日)
八戸市の演劇界を牽引した劇作家・小寺隆韶さんの短編作品を組み合わせたプログラムを上演。八戸市出身のダンサー磯島未来さんの振付作品も上演します。
※各上演時間・内容・入場料についてはお問い合わせください。

*** ■はっちヒカリアソビ ～ hacchi MEDIA ART FESTIVAL ～**
3月1日(火)～21日(月・祝)
※3月8日(火)は休館日
3D プロジェクションマッピングの作品投影やマンガ、ゲームなどのメディアアートをテーマとした「光の遊び」を楽しめます。

■第5回 八戸せんべい汁おもてなしアカデミー
3月13日(日) 10:00～15:30 ※受付 9:30
八戸せんべい汁の歴史や食文化、八戸発祥のB-1グランプリから八戸の観光情報まで、おもてなしの心を学べる、主に飲食店や観光関係の方を対象とした講座を開催します。
※受講料等、詳細はお問い合わせください。
問合せ：八戸せんべい汁研究所 labo@senbei-jiru.com

*** ■ベビシュタイン・ピアノリレーコンサート**
3月19日(土)～20日(日)
ピアノのストラディバリウスと呼ばれるほどの名器「ベビシュタインピアノ」の魅力を堪能できるコンサートです。

*** ■ストリート投げ銭ライブ in はっち**
2月3日(水)・24日(水)
3月9日(水)・30日(水)
4月6日(水)・20日(水)
開演 19:00

*** ■和日カフェ ～日本文化に親しむ日～**
3月20日(日)・4月17日(日)
毎月第3日曜日は日本文化に親しむ日。いけばな体験、お茶席などを開催します。

* が付いているイベントは、はっちの自主事業です。

information 市内施設情報

八戸市美術館
■コレクション展II
「石橋忠三郎のガラスアート展～芸術性と遊戯性の間で～」
2月13日(土)～3月21日(月・祝)

市内にガラス工房を構え「国内外で広く活躍しているガラス造形家・石橋忠三郎さんの、作品の魅力に迫ります。(2月14日講演会・3月6日ギャラリートークあり)
しぶき水 早春

① 9:00～17:00 (受付は16:30まで)
休 2月15・22・29日・3月14日
☎ 0178-45-8338
📍 http://www.city.hachinohe.aomori.jp/art/

八戸市博物館
■企画展
「えんぶり展」・「ひな人形展」
1月30日(土)～3月13日(日)

八戸を代表する郷土芸能えんぶりに関する資料や、江戸時代から伝わる歴史雛や各地の郷土雛などをご紹介します。(2月18日・19日に学芸員によるギャラリートーク「えんぶり」開催)
享保雛

① 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
☎ 2月8・12・15・22・29日
☎ 0178-44-8111
📍 http://www.hachinohe.ed.jp/haku/

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
■パネル展
「伝える - 大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 -」
12月19日(土)～3月21日(月・祝)

大正から昭和初期にかけては川遺跡やその出土品は、ガラス乾板に撮影されて保存されていました。それらの保存修理とデジタル化によりよみがえった高精彩写真を、パネル展で紹介します。
ガラス乾板に記録された是川遺跡出土品
① 9:00～17:00 (受付は16:30まで)
☎ 2月8・12・15・22・29日・3月14・22・28日
☎ 0178-38-9511
📍 http://www.korekawa-jomon.jp/

hacchi topics はっちトピックス

八庵の生け花と色紙 ボランティアの方の手で5年

3階の八庵。床の間の生け花と、棚に飾られた短歌の色紙をご覧になったことがありますか？ 生け花は月に3回生け、色紙は月に1回書いて、展示替えされていますが、この5年間休むことなく、どちらも市民ボランティアの方が替えてくださっているものです。館内で何気なく目にするものにも、市民の方のセンスが光っています。

〈はっち情報発信中!!〉
f https://www.facebook.com/hacchi8
t https://twitter.com/hacchi_staff
iPhone 無料アプリ i8nohe(あい・はちのへ)
その他、各社新聞、コミュニティラジオ BeFM でも情報発信中です。



street event まちなか情報

■「八戸ヒト・コト・モノ帖」オープン

八戸市十三日町の創造活動の交流・支援拠点「八戸ニューポート」が、webマガジン「八戸ヒト・コト・モノ帖」をオープンしました。
八戸でユニークな活動をする人やプロダクトの紹介、八戸ニューポートでのイベントレポートなどを掲載しています。
普段生活しているだけでは巡り会う機会のない、ユニークな八戸人を知ることができるサイトです。あなたの知らない八戸の魅力を見つけてください。

「八戸ヒト・コト・モノ帖」ウェブサイト
http://8-hitokotomono.ciao.jp/

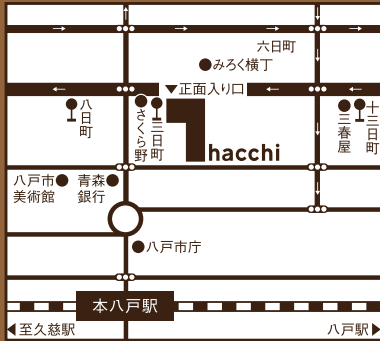


八戸ポータルミュージアム「はっち」は地域の資源を大事に想いながら新しい魅力を創り出すところ。まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てを軸とした活動をサポートする多様な設備を備えています。

八戸ポータルミュージアム はっち http://hacchi.jp
TEL 0178-22-8228 FAX 0178-22-8808
〒031-0032 青森県八戸市三日町 11-1

開館時間／9:00～21:00 ※こどもはっち 9:30～16:30
休 館 日／毎月第2火曜日(祝日の場合その翌日)、12月31日及び1月1日
年末年始に伴う開館時間／10:00～18:00 (12月30日・1月2日・1月3日)

【交通のご案内】
バス／八戸駅東口からバス八戸市中心街方面行き[約25分]
八戸中心街ターミナル(八日町)下車すぐ
ＪＲ／八戸駅からJR八戸線本八戸駅下車[徒歩約10分]
航空機／三沢空港から八戸市内シャトルバス[約55分]
フェリー／八戸港フェリーターミナルからシャトルバス[約25分]
車／八戸駅から車[約20分]
※一般来館者の駐車場はございません。
お近くの有料駐車場をご利用ください。





5th



はっちは、平成 28 年 2 月 11 日で開館から
5 周年の節目を迎えます。
はっちには思い出が増えました。
市民のみなさまとの嬉しい思い出。

コンサートなどのイベントを開催された方、友達との待ち合わせ場所にされた方、
閉館ぎりぎりまで受験勉強を頑張った学生さん。
それは来館された方、ご利用された方々おひとりおひとりの大切な思い出でもあり、
また、はっちにとっても大切な思い出です。
思い出が生まれるたび、はっちはさらにステキな場所になります。

Anniversary Ceremony

はっち開館 5 周年記念セレモニー

これまでお世話になった市民の皆様と共に 5 年間の歩みを振り返り、
お祝いするセレモニーを開催します。

日時 平成 28 年 2 月 11 日（木・祝） 13:30～14:30
スペシャル投げ銭ライブ 14:40～18:00
会場 1 階はっちひろば



水の都、八戸。
厳しい冬の季節の中でも、
子どもたちは元気に笑顔で、たくましく育ってきた。
そこには、豊かな自然と、
何より、みんなで子どもを見守り
慈しむという想いがあるから。
それは、八戸の先人が残した縄文時代の土偶にも見て取れる。
お産を表すその形には、新しい命の誕生を待ちわび、
喜び、そして大切に育てるという、
強い意思と願いが込められている。
遠くいにしえの時代から、
この土地にはその強い決意があったのだ。
その決意があつてこそ、子どもたちは安心して、
泣いたり、笑ったり、いろいろなことを経験し、成長できる。
私たちが子どもたちに残し、
引き継いでいかなければならないもの。
それこそ、この精神と優しさと想いだ。
子どもたちよ、夢を持って羽ばたこう。
悲しいとき、つらいとき、
このふるさとが、みんなが、笑顔で待っている。
愛するふるさと八戸で。

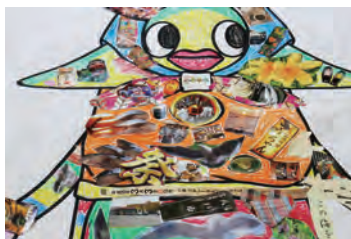
文／平間 恵美 ひらま えみ

NPO 法人はちのへ未来ネット代表理事、こどもはっち代表。2010 年に子育てサークルを立ち上げ、八戸市総合計画策定委員や青森県社会教育委員など、子育て・協働の観点から附属機関の委員等の要職を務める。現在は、「こどもはっち」（子育て集いの広場）を中核に、子育て世代の支援事業や高校生の居場所づくり、ボランティア、支援者の養成講座などを展開している。

撮影地：八戸市 長根スケートリンクでのスケート教室の様子 1984～86 年頃撮影

これまでの5年と、これからの日々へ

見慣れたものに新たな息吹をもたらすこと

はっちをにぎわす
《光》のアソビ

はっちヒカリアソビ

～hacchi MEDIA ARTS FESTIVAL～

日時 平成28年3月1日(火)～3月21日(月・祝)
※3月8日(火) 休館

会場 はっち館内各所

好評を博した「八戸ライトショー・フェスティバル」をリニューアル。大型プロジェクション・マッピングなどの映像や、マンガ・ゲームなどのメディアアートをテーマとした複合型アートプログラム「はっちヒカリアソビ」として生まれ変わりました。

子どもから大人まで50人以上の市民のみなさんがコラボして完成させた、八戸をイメージした4体の「八戸ビッグモンスター」が登場する3Dプロジェクションマッピング作品投影をはじめ、どなたでもお楽しみいただけるプログラムです。

連携プログラム 「文化庁メディア芸術祭 青森展」

会期 平成28年3月12日(土)～3月27日(日)
会場 青森県立美術館(青森県青森市安田字近野185)
HP 文化庁メディア芸術祭ウェブサイト
<http://j-mediaarts.jp/>

八戸のまちはさらにかわっていきます

はっちがオープンしてからの5年間、八戸のまちは少しずつ変化をしており、新たなプロジェクトも進行中です。いまから5年後には、また違った風景ができています。まちの変化にもご注目ください。

(仮称)八戸ブックセンター
平成28年オープン予定

はっち向かいで(株)眞照堂が建設中のビルに、「(仮称)八戸ブックセンター」がテナントとして今年オープン予定です。ブックコーディネーターの内沼晋太郎さんがプロデュースする、新たな本の楽しみを提供する空間です。

国内で3棟目となる
屋内スケート場を整備中

スピードスケートやアイスホッケーが盛んな八戸市。国内で3棟目となる屋内スピードスケートリンクの整備が進行中で、国際大会の開催を満たす設備を備えています。



イカ × ロボコンのご当地ゲーム

第3回八戸市民ロボコン「イカとり合戦」

日時 平成28年2月14日(日)
13:00スタート

会場 1階 はっちひろば

「八戸市民ロボコン」も3回目、毎年恒例となりました。毎回八戸の風物をテーマに開催する「ご当地ロボコン」。今年のテーマは八戸名物のイカ。ロボットがイカに見立てた紙筒を引き抜いて、その点数を競う「イカとり合戦」を開催します。

今回も、子どもから年配の方まで幅広い年齢層の参加者が、時間とアイデアを注ぎ込んだ自慢のロボットを持ち寄って点数を競います。全国的に注目を集める教育プログラム「八戸中学校ロボコン」のエッセンスが注ぎ込まれた「魅せるロボコン」で、参加者も来場者も楽しめる大会です。



まちのことは私たち市民の手で！

「まちぐみ」展

日時 平成28年2月8日(月)～2月21日(日)
※2月9日(火) 休館

9:00～21:00

会場 1階 シアター1 ほか

平成26年からスタートした、まちをおもしろくする市民のボランティア集団「まちぐみ」。ユニークな店舗リノベーションや、活動拠点となる「まちぐみラボ」の整備・運営を、アーティストの山本耕一郎さんとまちぐみメンバーと一緒にしてきました。本展はその活動を振り返るとともに、今後の活動を予告するような内容となっています。

自分のまちは、自分たちで楽しくする。いまや240名を超えたまちぐみメンバーの想いが詰まった展覧会です。

はっちの5年間は、市民と一緒に作りあげました

原 麻理絵さん

主婦

昔はバンドを組んでいた原さん。当時はギターを担当していたそうですが、ブランクを経てドラムの練習をスタート。ドラムの先生から、はっちの音のスタジオを勧められ、利用されているそうです。

普通のスタジオは、バンドマンやバンド単位じゃないと使ったってはいけない気がしてしまうのですが、ここは一人でも気軽に利用できるのが嬉しいです。

はっちでは毎日
市民の方々が活動中。

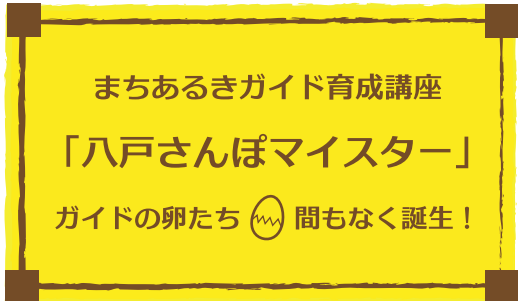
この5年間、多くの市民の皆様には、はっち館内のシアターやギャラリー、スタジオなどの貸出スペースを利用いただきました。

日々の賑わいを創り出している市民の皆様の活動を、より素敵に魅せるための工夫がはっちには施されています。

日頃からはっちをご利用いただいている方々の中から3名の方に、利用するようになったきっかけや感想をお伺いしました。



日々暮らすまちを見つめ直すこと



1 11月に行われた現地調査。陸奥湊コースと中心街コースに分かれ、コース作りとガイドするポイントなどを確認・発見してまちあるきの素材を整理しました。

2 7〜8人毎にチームを作り、現地調査で撮ってきた写真を見せ合いながら、どんなコースを作るか話し合いました。知らない場所もけっこうあって、八戸の普段の生活や文化の奥深さを再認識。

3 八戸ニューポートでの講座風景。スペシャル講師は、弘前路地裏探偵団のライライさん。グループワークの心得から、まちあるきコースの作り方、ガイドする際のポイントなども楽しく教えてくれました。

何気ない日常のまじ中に潜む八戸のディープな魅力をどのように紹介してくれるのか、八戸さんぽマイスターに期待大です。

歴史や名所といったこれまでの観光のスタイルにこだわらず、何気ない普段の八戸の景色や暮らしなど、市民の生活文化が持つ身近な魅力にスポットを当てて観光案内を行う、まちあるきガイド育成講座「八戸さんぽマイスター」が昨年11月から始まりまし。

講座参加者は総勢43人。観光関係の方やまちづくりに興味のある方など、職業も年齢もさまざまな市民が参加し、コースやマップ作りに取り組んでいます。今年2月までに終わる全7回の講座受講後は、まちあるきガイド「八戸さんぽマイスター」の「卵」となり、実際に観光客などのガイドをしていく計画で、卵たちはガイドの経験を積んでマイスターになっていきます。

八戸の日常を、ガイドが自分たちの生活を通して案内し、まちの魅力を体感してもらうまちあるきコースは自分たちで考えて作ります。マイスターの卵たちはそれぞれに育ち方や風習も違うので、同じようなコースでもガイドによって説明の広がりや深さに変化が出て、きつと何度体験しても面白く、趣のあるまちあるき体験ができることでしょう。

八戸の魅力歩いて紹介「八戸まちあるきガイド」を目指す市民が奮闘中！



講座を卒業したガイドによる八戸のまちあるきは、今春のスタートを目指しています。詳しい情報は下記までお問い合わせください。

- 主催・問合せ 公益社団法人 八戸観光コンベンション協会
- サイト URL <http://www.hachinohe-cb.jp/>
- TEL 0178-41-1661
- 〒031-0075 青森県八戸市内丸一丁目1-2
- 営業時間 8:30〜17:00 ●定休日：土日祝



【イベント情報】

●第11回こどもフェスタ 八戸こどものまち

日時：2月13日（土）・14日（日）
10:00〜15:30
会場：八戸市公会堂・公民館
対象：小学生 300名
参加費：無料（入場料別途）・要予約

●こどもはっちお茶会

日時：2月21日（日）
第1部 10:30〜、第2部 10:50〜
第3部 11:10〜
会場：こどもはっち内
定員：各回先着2組
参加費：200円（和菓子代として）

●あわてん坊のなりぎりお雛様

日時：2月28日（日）10:00〜14:00
会場：はっちひろば
対象：就学前のお子様
参加費：無料・予約不要

●ふたごさん大集合！

日時：4月3日（日）11:00〜12:00
会場：はっちひろば
対象：0歳〜100歳までの双子さん、三つ子さん
参加費：無料・予約不要



パパさん20人に 聞きました

【今日はどなたとご利用ですか？】

- ・家族全員で … 14組
- ・パパと子どもだけで … 5組
- ・おじいさんおばあさんも一緒に…1組

【自分をイクメンだと思いますか？】

- ・いいえ。でも共働きなのでできる方ができているをしています … 10名
- ・ほとんど奥さん任せです … 9名
- ・イクメンの枠に収まり切らないほど、家事育児をしています！ … 1名

④ 9:30〜16:30（1月2日・3日は10:00〜16:30）
⑤ 毎月第2火曜日（祝日の場合その翌日）
年末年始 12月29日〜1月1日
⑥ 100円（未就学児は無料）
☎ 0178-22-5822
📍 <http://www.kodomohacchi.com>
※土日祝日などの混雑時には、入場制限（1時間での入れ替え）をさせていただく場合があります。

はっちの ものづくりスタジオ

はっちには、手仕事を生業とする作家による「ものづくりスタジオ」とフードクリエイターによる「クッキング工房（食のものづくりスタジオ）」があります。

どのお店も、ここでしか出会えないオリジナルばかり。あなたのオンリーワンをぜひ見つけてください。

2F・3F クッキング工房



2F きたむら食堂

営業時間 11:00〜18:00
定休日 毎週水曜日
玄米や雑穀ご飯と食べる健康スープを日替わりで提供します。



2F Sports Café RUOTE

営業時間 11:00〜18:00
定休日 毎週火曜日
大型モニターが1台あり、スポーツ観戦をしながら食事を楽しめます。

4F ものづくりスタジオ



工房「澄」

営業時間 10:00〜17:00
定休日 毎週火・水曜日



かわいいアロマ ひつじや

営業時間 10:00〜17:00
定休日 毎週火・木曜日

体調や体質に合わせ、調香します。香りを取り入れたアロマライフのご提案も。



おもちゃハウスくれよん

営業時間 10:00〜17:00
定休日 なし

こどもはっちプロデュースのお店。赤ちゃんに安心な素材のおもちゃが揃っています。



7the4th-HANDICRAFT-

営業時間 11:00〜18:00
定休日 毎週水曜日

ハンドメイドにこだわりぬいた革小物の工房兼ショップ。カラフルな小物が人気です。

ワークショップに参加しよう

ものづくりスタジオではクリスマス等のイベント時はもちろん、普段からワークショップを開催しています。お気軽にご参加ください！



かわいいアロマひつじや

その人に合った香りを選び、ハンドクリームを作ります。

工房「澄」

織機を常設しており、予約なしで体験できます。生徒さんも募集中。



※他店舗でもワークショップを開催しております

はっち 特派員だより ～その3～



はっち5周年運動企画 ～伝統を受け継ぐ5歳児～ 八戸えんぶり

期待の星★

えんぶりキッズにインタビュー

「八戸えんぶり」は八戸地方に伝わる豊作祈願の民俗芸能です。馬の頭の形をかたどった豪華な装飾の烏帽子を被った太夫（舞手）が頭を大きく振りながら稲作の一連の動作を表す「溜り」（舞の呼称）の合間に、子どもたちが「祝福芸」で楽しませてくれます。

はっち5周年を記念して、祝福芸で活躍している5歳のえんぶりキッズ、八太郎えんぶり組のリリコちゃん（リ）とタイガくん（タ）を取材しました。



【何歳からはじめましたか？】

- リ：1歳ぐらいから。
- タ：3歳ぐらいから。

2人とも、お兄ちゃんやお姉ちゃんの練習についてくうちに、自然に参加していたそうです。そんなに小さなお子さんから始めているなんてすごいですよね。気がついたら自然にえんぶりを始めていたのねえ。

はっち5周年運動企画

～伝統を受け継ぐ5歳児～ 八戸えんぶり

【得意な祝福芸は？】

- リ：南部大黒舞（ほかには「苗取り」「八戸小唄」も得意）
- タ：松の舞（「恵比寿舞」も踊れます）

踊りの手や足が反対になってしまうときもありますが、大人でも難しい複雑な踊りを頑張って練習しています。お兄ちゃんたちのお囃子に合わせて真剣に舞ってくれました。

大人になると女性はえんぶりの裏方にまわり組を支えます。タイガくん「大人になってもえんぶりを続ける？」と聞くと、「お父さんが鳴らしている手平鉦をいつかやってみたい。」と、照れくさそうにお父さんを見ながら答え、お父さんはそれを聞いて嬉しそうにしていました。

これまで恥ずかしそうに受け答えしていた2人でしたが、えんぶりは寒くて大変じゃないですか？という質問には、「寒くない。」とキッパリ言い切りました。市内で最高齢の恵比寿舞の舞手、えんぶり伝承師の高橋常男さんは、「夜に屋外で行われるかがり火えんぶりでは、寒い日でも2人は嫌がったことがない。感心する。」と目を細めます。



はっちと同年の5歳。普段はあどけない表情のリリコちゃんやタイガくんですが、お囃子が始まると舞い始めます。真剣な眼差しで微笑みを浮かべ、愛らしく優雅に舞う姿はプロフェッショナルです。今年のえんぶりでは、ぜひ彼らを探してみてください。きっとあなたの心に春を呼び込みます。

はっち特派員えんぶり展

日時：2月13日（土）〜21日（日）
9:00〜21:00
※最終日のみ18:00まで
場所：3階ギャラリー3



はっち特派員ブログ

<http://tokuhainn8.exblog.jp/>

市民ボランティアによる「はっち特派員」が、「リアルタイムな八戸」「旬な八戸」など、まちの地域情報の撮影や取材・情報発信を市民目線で行っています。